



「アサイゲルマニウム」を使用した、ガン全般/転移ガン抑制/疼痛緩和/各種難病/間質性肺炎/美白/皮膚修復促進作用などの治癒・改善・予防の効果に対する症例研究

アサイゲルマニウムは、浅井一彦博士の研究室で長年の努力の末に無機ゲルマニウムと有機化合物との化学反応によって合成に成功したものです。安全性が高く、日本では食品原料として様々なサプリメントに含有されています。アサイゲルマニウムは古くから医学領域、特にガンや多くの難病の症状を改善・回復させたという内容の研究報告が多くなされています。また有機ゲルマニウムは痛みからの解放という特性、つまりガン疼痛、手術の痛み、歯痛、咽喉痛などが起きないようにする機能も果たします。

名古屋大学名誉教授で理学博士の手塚隆文博士のテポウユリの自家受粉の研究では、有機ゲルマニウムはサイクリック AMP やアセチルコリンの合成系に関与する酵素を誘導し、あるいは活性を促進する可能性があると報告されています。ご存知のようにサイクリック AMP はガン細胞を短時間で正常細胞に戻す作用が確認されている物質です。サイクリック AMP を卵巣がん細胞に加えたところ 5 時間で正常な繊維芽細胞に変化したとコロラド大学研究グループによって 1979 年に発表されています。さらに脳腫瘍細胞にサイクリック AMP を少量（1 マイクログラム）加えて 30 日間培養したところ正常な細胞になったことも報告されています。

こうした事実から当会ではアサイゲルマニウムをサプリメントとして摂取する事でガンや各種難病などに対する効果を測る、症例の積み上げによる多施設共同研究を行うことにしました。

素材投与期間	3ヶ月～1年程度
素材投与方法	経口投与
効果測定項目	各種血液検査、自己申告、医師所見など

＜アサイゲルマニウム＞

今から約 20 年前に開催されたシンポジウムにおいて金沢大学の小田島爾夫教授がモーリス肝ガン培養細胞に朝鮮人参のサポニンを 20 マイクログラム投与する実験を行ったところ投与前には培養液の中で細かく断片化していたガン細胞が、投与後に大きく一つ一つはっきりした正常細胞に再分化したとの発表をしています。朝鮮人参にはゲルマニウムが多量に含まれている事は良く知られた事実ですので、こうした変化も有機ゲルマニウムと関係があるかもしれません。

更に、浅井一彦博士は有機ゲルマニウムが種々の病気に対して有効だった症例を多数報告しています。その症例はガン、ベーチェット病、サルコイドーシス、スモン病、再生不良性貧血、白血病、脳軟化症、蓄膿症、歯槽膿漏、小児喘息、小児腎炎、頭痛、子供の進行性筋萎縮症、蒙古症、やけど、風疹、麻疹など非常に多岐にわたっています。

栄養成分表示(3粒あたり)
 エネルギー 1.49kcal
 タンパク質 0g、
 脂質 0g、
 炭水化物 0.37g、
 食塩相当量 0.0005g
 カルシウム 8.85g
 ゲルマニウム 321g

日本先進医療臨床研究会
 03-5542-1597
info@jscsf.org